



平成 26 年度 <中間>

(2014.4 – 2014.9)

ディスクロージャー誌

韓国外換銀行

在日支店



本ディスクロージャー誌は、銀行法第 21 条ならびに銀行法施行規則第 19 条の 2（業務及び財産の状況に関する説明書類の縦覧等）に基づき、在日支店ならびに当行全体の業務および財産の状況等について作成したもので、同規則第 19 条の 4 に定める期限である平成 27 年 3 月 31 日までに営業所に備置しました。

目 次

1. 在日代表のごあいさつ

2. 在日支店に係る事項

1) 韓国外換銀行在日支店の概要

- イ. 韓国外換銀行在日支店の代表者の氏名及び役職
- ロ. 在日支店の概要
- ハ. 大株主の状況

2) 韓国外換銀行在日支店の営業の概況

- イ. 本邦における営業店舗
- ロ. 組織図および業務内容
- ハ. 在日支店の活動現況

3) 在日支店貸借対照表及び損益計算書

3. 外国銀行(本社)に係る事項

- 1) 本店の経営方針（銀行長からの便り）
- 2) 当行のあゆみ
- 3) 全社連結貸借対照表及び損益計算書

以上

1. 在日代表のごあいさつ

平素より、私ども韓国外換銀行在日支店をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

私ども韓国外換銀行は1967年1月30日に設立され、現在までの46年間、お客様に様々な金融サービスを提供して参りました。この間、様々な金融環境の変化による紆余曲折にも、変わらぬ営業を続けられますのも、お客様をはじめとして、お取引様の多大なるご支援の賜物と考え、今後も「お客様第一主義」を営業の基本とし、私どもの強みである豊富な海外ネットワーク(世界21カ国、29拠点<現法10、支店13、事務所6>)を最大限に活用し、外国為替業務を中心に質の高い商品やサービスのご提供に取組んで参ります。



在日支店は、2010年1月金融庁から行政処分を受け、その間、在日支店の経営管理(ガバナンス)態勢の見直し・再整備、法令等遵守態勢の確立等のため、業務改善計画を策定し、その履行・定着化に全行的に取り組んできた結果、2012年7月をもって改善命令は解除されました。当行は今回の改善命令解除を再出発の基点として、より一層お客様のニーズにお応えすべく、日本における顧客サポート体制を整備すると同時に職員の意識を改革して「お客様とともに歩む外換銀行」としてお客様の利便性の向上と更なるサービス向上を目指して、邁進しております。

当行は2012年2月にハナ金融グループの傘下に入り、新しいガバナンス体制の下で再出発することになりました。過去の古い経営気質を脱ぎ捨て、めまぐるしく変化を繰り返す金融環境に即応できるような柔軟かつ大胆な経営スタイルに生まれ変わり、今の厳しい金融情勢をお客様と共に乗り越えて行けるように最善を尽くす所存でございます。当行では、2013年11月には福岡出張所を開店し、在日拠点の裾野を広げることにより、お客様により一層の充実した金融サービスを提供できるように最大限に努力したいと考えております。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年9月
韓国外換銀行
日本における代表者 金 奎成





2. 在日支店に係る事項

1) 韓国外換銀行 在日支店の概要

イ. 韓国外換銀行 在日支店の代表者の氏名及び役職

韓国外換銀行

日本における代表者 金 奎成 (Kim Kyoo Sung)

ロ. 在日支店の概要

営業開始日	1967 年 1 月 30 日 (東京支店、大阪支店)			
主要業務内容	当行は 1967. 1. 30 韓国外換銀行法制定と同時に韓国銀行外国為替部から独立し、設立、同年在日支店(東京・大阪)営業開始、1981. 12 福岡支店設置(1999. 9 閉鎖)、1989 年韓国外換銀行法が廃止され、民間銀行となる。設立当初より韓国系商社の日本人、在日韓国系企業および在日韓国人を主要顧客として、貸付、預金、外国送金および貿易金融など広範囲な金融サービスを提供。2014 年 9 月末中間決算では経常利益は 321 百万円、特別利益は 109 百万円、特別損失は 34 百万円、繰越利益剰余金は 171 百万円、当期利益は 396 百万円となった。			
主 要 計 数 (百万円) 在日支店分		平成 24 年 9 月末	平成 25 年 9 月末	平成 26 年 9 月末
	総 資 産	92, 537	111, 549	101, 561
	貸 出 金	51, 677	49, 518	65, 356
	預 金	63, 130	56, 687	53, 821
	経常利益	△38	693	321
	当期利益	△328	688	396
	従業員数	55 人	55 人	51 人
認可等案件実績	1967 年 1 月 26 日 銀行業免許取得および外国為替業務認可取得、1985 年 6 月 24 日 有価証券売買および引受けの認可取得、1989 年 6 月 28 日 金融先物取引業許可取得、2000 年 6 月 30 日 金融先物取引業廃業、2006 年 6 月 29 日新宿出張所開設認可取得、2007 年 9 月 30 日 登録金融機関第 69 号取得、2013 年 11 月 1 日福岡出張所開設認可取得			



ハ. 大株主の状況 (2014年9月末現在)

株主名	保有株式	
ハナ金融持株 (注)	644, 906, 826	100. 00%

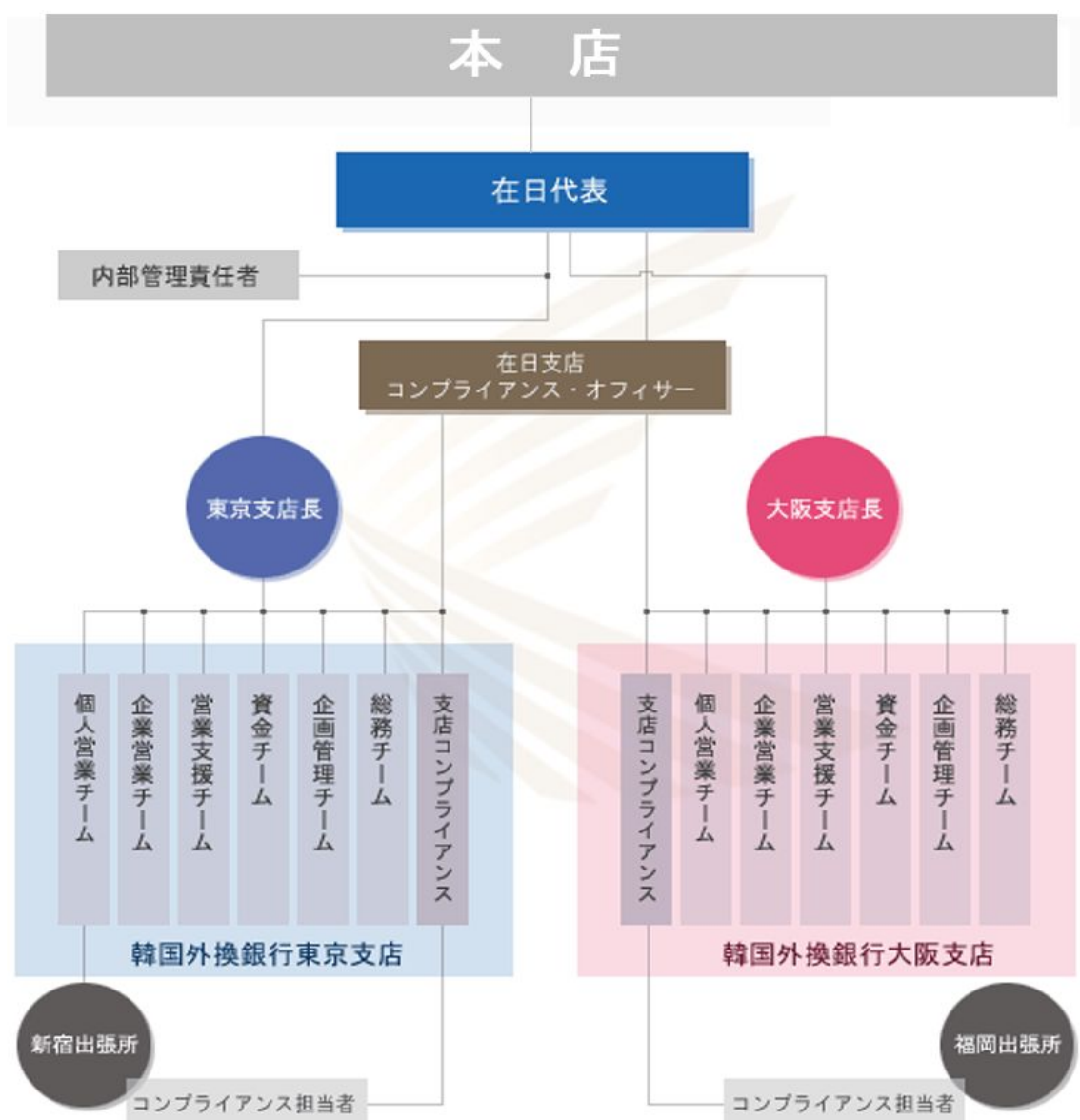
※	1. 発行株式総数	644, 906, 826 株
---	-----------	-----------------

2). 韓国外換銀行在日支店の営業の概況

イ. 本邦における営業店舗

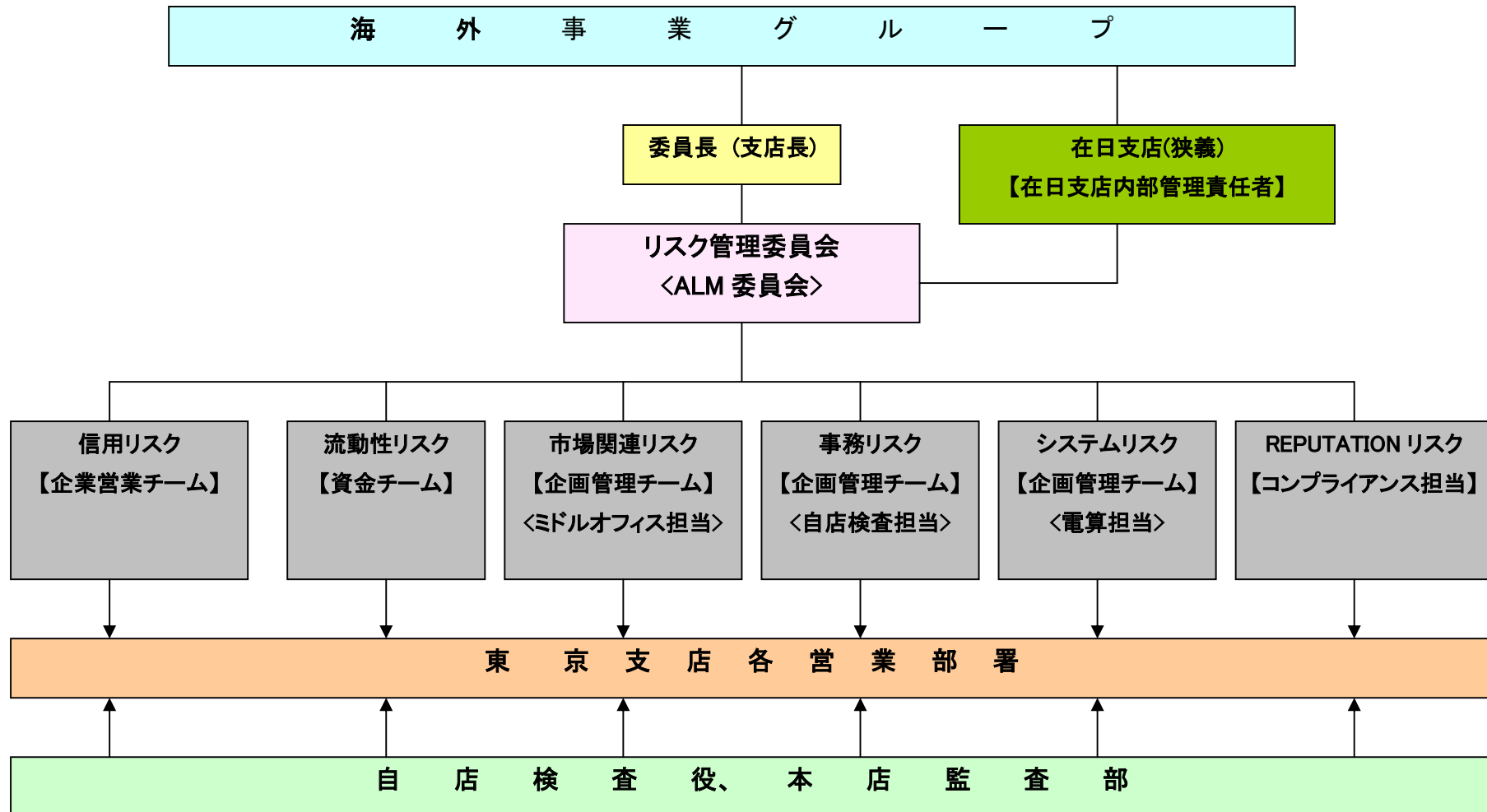
(支店名・出張所)	(所在地)	(支店長)
東京支店	東京都千代田区丸の内3丁目4番1号	金 奎成
大阪支店	大阪府大阪市中央区今橋4丁目1番1号	趙 珍濟
新宿出張所	東京都新宿区百人町1丁目1番2号	李 鉄男
福岡出張所	福岡市中央区天神1丁目1番1号	孫 景模

ロ. 組織図および業務内容 (2014年9月末現在)



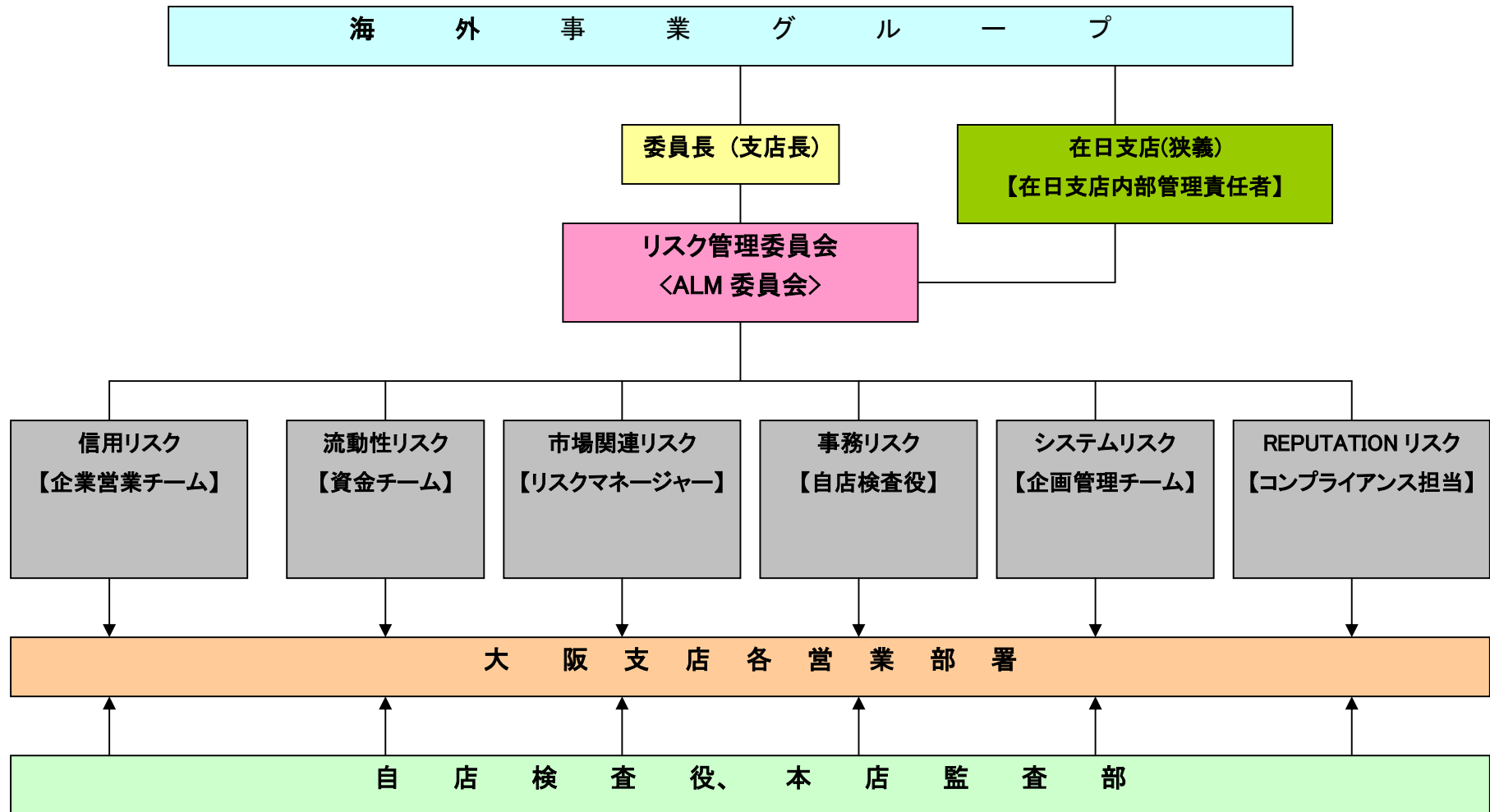


(総合リスク管理組織体制 <東京支店>)





(総合リスク管理組織体制 <大阪支店>)



(在日支店合同によるリスク管理委員会の開催)

(1) 在日支店で共通のリスク管理に係る事項を審議するため、半期1回東京／大阪支店合同によるリスク管理委員会を開催。

(2) 合同リスク管理委員会の構成

構成	担当
委員長	在日代表
幹事	内部管理責任者
委員	各支店長 各支店のリスク管理者 各支店の信用リスクおよび信用集中リスク管理責任者 各支店の流動性リスク管理責任者 各支店の市場リスク管理責任者 各支店のオペレーションリスク(事務リスク)管理責任者 各支店のオペレーションリスク(システムリスク)管理責任者 各支店のレピュテーションリスク管理責任者
参考人	在日支店のコンプライアンス・オフィサー 委員長が参考人として認めた者

〈業務内容(東京・大阪支店)〉

業 務 名	業 務 の 内 容
預金業務	普通(円貨・外貨)、当座(円貨・外貨)、定期(円貨・外貨)預金の受入、外貨両替業務、国内送金業務
送金業務	海外仕向・被仕向送金の取扱、取立業務、海外送金カードサービス
輸出入業務	輸出書類の買取業務、信用状通知業務、信用状の発行等
融資業務	融資業務(割引手形、手形貸出、証書貸出)、シンジケートローン等
資金業務	資金業務、対顧客先物為替取引、国内外本支店間の資金取引、有価証券投資
資金決済業務	本支店資金受払業務、資金取引バックオフィス業務、
経営管理業務	自店検査、決算業務、本店および当局向各種報告
企画調査業務	リスク管理業務、経営計画・各種企画調査業務
総務業務	一般総務業務
電算業務	銀行電算システム管理業務
コンプライアンス	法令等遵守、マネー・ローンダリング防止等関連業務

ハ. 在日支店の活動現況

経営現況

当行は、韓国最大の外為銀行としての特色を最大限に生かし、送金および貿易金融等でお客様に各種のサービス提供しております。また遠隔地にお住まいのお客様のためにインターネットバンキング、窓口の強化として新宿出張所開設等を行い、簡便な海外送金サービス等を提供できるようにキャッシュカード発行サービスを開始し、三井住友銀行（同行 ATM は各支店および@bank：コンビニエンスストア内に所在）、セブン銀行に続いて、2010 年 12 月からはイオン銀行とも提携開始し、お客様の利便性を高めてまいりました。

当行は本邦でいち早く韓国ウォンの両替業務を行い、2002 年のサッカーワールドカップ開催を機とした韓国ウォンキャッシュの売買取扱、2008 年 10 月からは新商品としてウォン当座預金の取扱いを開始、2009 年 10 月から日本で最初のウォン定期預金 (Global Won 定期預金) の取扱いを開始致しました。お客様の身近な運用商品としてご利用いただいております。

ウォン当座預金およびウォン定期預金等は今後ともニーズが高まるものと予想されることから、当行は同預金取扱を通じて、ウォン関連商品を日本国内で推進・拡大して行きます。

コンプライアンス

2010 年 1 月、在日支店は金融庁より法令遵守等ならびに内部管理態勢等の不備により、行政処分を受けました。この処分を真摯に受止め、在日支店の経営管理（ガバナンス）態勢の見直し・再整備、法令等遵守態勢の確立等の業務改善計画を策定し、その履行・定着化に全行的に取り組んでまいりました。その結果、2012 年 7 月には業務改善命令は解除され、当行はその間差し控えてきました営業の強化やお客様へのサポート強化を開始すると同時にコンプライアンスの一層の強化実施を行なっております。

リスク管理

「金融庁金融検査マニュアル」等に沿った策定した在日支店総合リスク管理指針に基づき、各種リスクに対して、各支店リスク管理委員会での具体的な審議と在日支店共通のリスク等に対しては「在日支店合同リスク管理委員会」を開催して、従来よりさらに積極的なリスク管理を実施してします。

不良債権問題

在日支店の不良債権については過去数年間にわたる集中処分により、ほぼその処理も終了致しました。全体的に資産健全化を実現すると同時にリスク管理強化により不良債権発生を抑制させて行く計画です。

3)-1 在日支店貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円)

科目	平成 26 年 9 月末	平成 25 年 9 月末	増減
現金預け金	4,073	8,704	-4,631
現金	297	266	31
預け金	3,776	8,438	-4,662
コール・ローン	0	0	0
買入手形	0	0	0
買入金銭債権	0	0	0
有価証券	0	0	0
国債	0	0	0
社債	0	0	0
株式	0	0	0
その他有価証券	0	0	0
貸出金	65,356	49,518	15,838
割引手形	424	483	-59
貸付金	64,932	49,035	15,897
外国為替	4,383	9,937	-5,554
その他資産	361	407	-46
未決済為替貸	0	0	0
前払い費用	72	27	45
未収収益	148	261	-113
未決済外国為替貸	0	0	0
その他資産	141	117	24
有形固定資産	451	422	29
建物	44	45	-1
土地	132	132	0
建設仮払金	0	0	0
その他有形固定資産	274	244	30
無形固定資産	231	237	-6
ソフトウェア	11	14	-3
のれん	0	0	0
その他の無形固定資産	219	222	-3
繰延税金資産	0	0	0
支払承諾見返り	8,120	4,234	3,886
貸倒引当金	-1,429	-1,441	12
本支店勘定	20,013	39,526	-19,513
本店	19,996	39,524	-19,528
在日支店	16	0	16
在外支店	0	0	0
資産の部計	101,561	111,549	-9,988

3)-2 在日支店貸借対照表(負債の部)

(単位: 百万円)

科目		平成 26 年 9 月末	平成 25 年 9 月末	増減
預金		53,821	56,687	-2,866
	当座預金	2,789	3,752	-963
	普通預金	7,182	8,501	-1,319
	貯蓄預金	0	0	0
	通知預金	201	241	-40
	定期預金	43,624	44,104	-480
	定期積み金	0	0	0
	その他の預金	23	87	-64
譲渡性預金		5,000	12,000	-7,000
コール・マネー		0	0	0
売渡手形		0	0	0
コマーシャル・ペーパー		0	0	0
借入金		20,776	15,308	5,468
	再割引手形	0	0	0
	借入金	20,776	15,308	5,468
外国為替		594	408	186
その他負債		360	645	-285
	未決済為替借	0	0	0
	未払法人税等	0	35	-35
	未払い費用	169	407	-238
	前受収益	55	95	-40
	給付補填金	0	0	0
	未決済外国為替借	0	0	0
	その他負債	134	106	28
賞与引当金		0	0	0
退職給与引当金		208	230	-22
その他引当金		67	31	36
繰延税金負債		0	0	0
支払承諾		8,120	4,234	3,886
本支店勘定		10,220	19,131	-8,911
	本店	4,305	17,096	-12,791
	在日支店	75	0	75
	在外支店	5,839	2,034	3,805
負債の部計		99,170	108,678	-9,508
利益準備金		2,011	2,011	0
繰越利益剰余金		379	859	-480
その他有価証券評価差額金		0	0	0
資本の部計		2,390	2,870	-480
負債及び資本の部合計		101,561	111,549	-9,988

3-3) 在日支店損益計算書

(単位: 百万円)

科目	平成 26 年 9 月末	平成 25 年 9 月末	増減
経常収益	1,163	1,669	-506
資産運用収益	709	902	-193
貸出金利息	494	548	-54
有価証券利息配当金	0	0	0
コールローン利息	0	0	0
買入手形利息	0	0	0
預け金利息	1	49	-48
金利スワップ受入利息	0	0	0
外国為替受入利息	49	65	-16
本支店為替尻受入利息	68	234	-166
その他の受入利息	91	5	86
役務取引等収益	188	200	-12
為替受入手数料	181	196	-15
その他の役務収益	3	3	0
その他業務収益	86	139	-53
外国為替売買益	86	126	-40
商品有価証券売買益	0	0	0
国債等債券売却益	0	0	0
国債等債券償還益	0	0	0
その他業務収益	0	12	-12
その他経常収益	179	427	-248
貸倒引当金戻入益	12	-	12
償却債券取立益	163	423	-260
株式等売却益	0	0	0
金銭の信託運用益	0	0	0
その他の経常収益	2	4	-2
経常費用	839	975	-136
資金調達費用	280	409	-129
預金利息	151	259	-108
譲渡性預金利息	29	26	3
コールマネー利息	0	0	0
コマーシャル・ペーパー利息	0	0	0
売渡手形利息	0	0	0
借用金利息	63	78	-15
金利スワップ支払利息	0	0	0
外国為替支払利息	0	0	0
本支店為替尻支払利息	28	45	-17
その他の支払利息	0	0	0
役務取引等費用	33	34	-1
為替支払手数料	26	20	-6
その他の役務費用	7	13	-6
その他業務費用	0	12	-12
外国為替売買損	0	0	0
商品有価証券売買損	0	0	0
国債等債券売却損	0	0	0
国債等債券償還損	0	0	0

国債等債券償却	0	0	0
その他の業務費用	0	12	-12
一般貸倒引当金	26	4	22
営業経費	498	513	-15
その他経常費用	3	2	-1
貸倒引当金繰入額	0	0	0
貸出金償却	0	0	0
株式等売却損	0	0	0
株式等償却	0	0	0
金銭の信託運用損	0	0	0
その他の経常費用	3	2	-1
経常利益(△は損失)	321	693	-372
特別利益	109	15	94
固定資産処分益	0	0	0
貸倒引当金戻入益	0	0	0
償却債券取立益	0	0	0
金融先物取引責任準備金取崩額	0	0	0
証券取引責任準備金取崩額	0	0	0
その他の特別利益	109	15	94
特別損失	34	3	31
固定資産処分損	0	0	0
金融先物取引責任準備金繰入額	0	0	0
証券取引責任準備金繰入額	0	0	0
その他の特別損失	0	3	-3
税引前当期利益(△は損失)	396	705	-309
法人税、住民税及び事業税	0	16	-16
法人税等調整額	0	0	0
当期利益(△は損失)	396	688	-292
前期繰越利益金(△は損失金)	0	171	-171
積立金取崩額	0	0	0
中間引当金	0	0	0
利益準備金積立額	0	0	0
本店への送金(△は本店からの補てん金)	0	0	0
繰越利益剰余金	0	171	-171
当期末未処分利益(△は損失)	396	859	-463

3. 外国銀行（本店）に関わる事項

1) 本店の経営方針

KEB のミッションとビジョン

韓国最高の Global Bank としての飛躍 それが KEB 外換銀行のビジョンです。

最高のグローバルネットワークと専門知識をもとに韓国とグローバルマーケットを繋ぎ、お客様の活動の場をグローバルに広げ、成功に貢献することで KEB のミッションであるすべての方の幸せを目指します。



グループビジョン 2025

信頼される一流のグローバル金融グループ
The Trusted Premier Global Financial Group



銀行ビジョン 2025

韓国最高の Global Bank



戦略 2025

FIRST KEB

Frontier in Global Biz. (Global 50%)

In-depth Customer Relationship
(顧客数及び資産倍増)

Strengthening Convergence
(シナジー20%)

Trusted Bank
(顧客信頼度・満足度
銀行部門1位)

中長期戦略課題 2020



Global Biz.
可能性を強化

Global 金融決済
市場を牽引

顧客基盤拡大

営業店運営を
イノベーション

シナジー連携
事業強化

銀行イメージ
強化



コアとなる能力

ヒューマンリソース管理 ・ グローバル事業展開 ・ カスタマー
リレーションシップ ・ リスク管理

価値命題とコア戦略

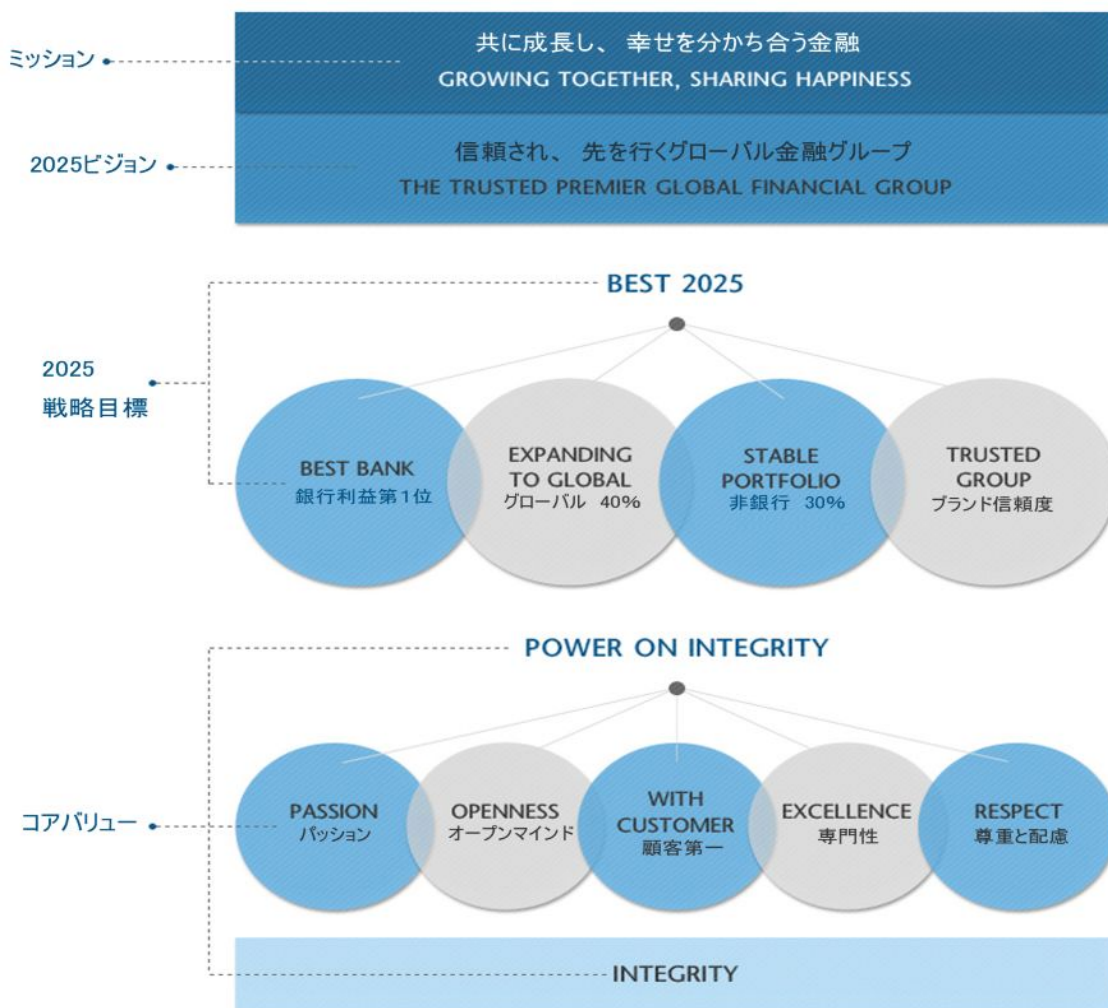




素晴らしい成功のスタート地点にはいつも心躍るビジョンがあります。

ハナ金融グループは過去 1 年余りの間、グループメンバー全員が参加し、ボトムアップ（bottom-up）で意見を集めることによりグループの存在理由である、ミッション、新たな 10 年のビジョン、そしてすべての価値判断基準となる重要な価値をもう一度新たに確立しました。

ハナ金融グループは、新しいビジョンと価値をもとにハナ人として誇りを抱き、より良い未来に向かって進んでいくつもりです。



ハナ金融グループの新しいビジョンは信頼され、先を行くグローバル金融グループ

ハナ金融グループは、ニューノーマル時代突入に伴う国内外の金融環境の変化と 2012 年 2 月、外換銀行がハナ金融グループの新しい一員になったことに伴い、現在のグループの位相と可能性に合致する新しい役割と目的を必要とし、新しいビジョン、ミッション、価値体系を確立しました。

ハナ金融グループは、幅広いベースのお客様に長期的な観点からのご満足を提供し、従業員にはより良い職場環境、継続的なコミュニケーションと一貫性のある経営活動で強い信頼関係を築いていくつもりです。

ハナ金融グループの新しいミッションで成長し、幸せを分かち合う金融

ハナ金融グループの新しいミッションは、時代の要求と変化に積極的に対応し、企業の社会的責任を果たしたいという意志の宣言です。

ハナ金融グループは、より良い社会を作るために一緒に努力しているすべての利害関係者が成長できるよう活動を実践し、企業本来の目的である成長と社会的責任のバランスをとり、「健全な成長」を追求します。

これまでもそうだったようにハナ金融グループは、本来の役割を忠実に実行し、すべての利害関係者と成長し、利益を分かち合い、金融を通じた共通の価値観の創出を通じて、社会構成員の幸せの追求に積極的取り組みます。

ハナ金融グループの新しいミッションは、時代の要求と変化に積極的に参加し、企業の社会的責任を果たすことです。

ビジョン達成のための戦略目標 BEST2025

見た目の成長ではなく、質的利益が中心の目標

Best Bank

- ・国内第1位の銀行として
安定した利益を産出する基盤を
確保
- ・顧客基盤の強化を通じて
銀行の立地を提供



Expanding to Global

- ・グループの成長の源として
グローバル事業の画期的強化
- ・低成長/低マージンの国内市場
環境の克服

Stable Portfolio

- ・グループの安定的な事業
ポートフォリオの構築
- ・シナジー基盤の安定した
総合金融サービスを提供

Trusted Group

- ・差別化された基盤である
‘信頼’を戦略目標に設定
- ・グループレベルのブランド
イメージを提供
- ・金融消費者保護の強化

Vision Emblem



水色は信頼
地球儀はグローバルステージを象徴しています
そして最高を目指すという意味を表した数字の‘1’

信頼で先を行く
グローバル金融グループ、ハナ金融グループ



水色
信頼を表しています



地球
地球儀はグローバル
ステージを表しています



数字の‘1’
最高の銀行になるという
意味である数字の‘1’



エンブレム
ビジョンに対する共感、ビジョンが
実現したときの感嘆を表しています

コアバリュー

POWER on Integrity

ハナ金融グループはハナ人としての考え方、創造的で強い企業文化を持っています。
ハナ人たちが共有し、実践するコアバリューは企業活動における価値判断と行動の基準となる最も重要な無形資産です。



POWER
on Integrity

ハナ金融グループのコアバリューはお客様を第一に考える
企業と個人の価値判断及び行動基準です。



PASSION
パッション

太陽のような情熱
責任を持って最善を尽くし
変化と革新でより良い
価値を追求します



OPENNESS
開示性

空のように開けた心
柔軟で偏見なく
人や環境を理解し
共感します



WITH CUSTOMER
お客様第一

王様のようにお仕えます
お客様を最優先にお迎え
する気持ちでご希望の
お取引をいたします



EXCELLENCE
専門性

輝く専門性
お客様の信頼を得るため
それぞれの分野の知識を
高めます



RESPECT
尊重と配慮

心からの尊重と配慮
個人の力を発揮し互いに
協力し相手の立場で
考え対応します



INTEGRITY
正直・誠実・透明

山のように変わらない INTEGRITY
金融人の基本倫理で任されたことを
常に正直に誠実にを行います

グループ会社



* 百分率は親会社が保有している該当子会社の持分率です。(2013年12月12日現在)

本店 組織図

変化をリードする組織力で金融市場の変化により迅速にお応えします。



2). 当行のあゆみ

1967. 1. 30	韓国外換銀行創立(資本金 100 億ウォン)
1972. 11. 28	韓国内最初の On-Line 普通預金取扱開始
1977. 3. 30	資本金 1,000 億ウォンに増資
1978. 4. 10	韓国内最初の信用カード(VISA Card)業務取扱開始
1981. 1. 30	本店新築移転
1985. 2. 19	86 アジアンゲームおよび 88 ソウル・オリンピック公認銀行指定
1985. 3. 25	信託業務取扱開始
1985. 7. 25	資本金 4,050 億ウォンに増資
1989. 12. 30	韓国外換銀行法廃止、特殊銀行から民間銀行に転換
1990. 7. 9	総合電算システム稼働
1990. 9. 13	体育宝くじ発売開始
1991. 12. 5	資本金 6,050 億ウォンに増資(一般公募 2,000 億ウォン)
1993. 1. 1	資産再評価実施
1994. 4. 4	株式上場
1994. 8. 30	97 ユニバーシアード大会公認銀行に指定
1995. 8. 25	資本金 8,250 億ウォンに増資(一般公募 2,200 億ウォン)
1996. 3. 14	VISA 海外デビット・カード清算銀行に指定
1996. 7. 8	KEDO 資金管理主取引銀行に指定
1997. 12. 11	韓国内最初の北朝鮮クムホ出張所開店
1998. 7. 29	資本金 11,750 億ウォンに増資(コメルツ銀行に第 3 者割当 3,500 億ウォン)
1999. 1. 1	韓外綜合金融(株)合併
1999. 4. 22	資本金 24,817 億ウォンに増資(最大株主韓国銀行からコメルツ銀行に変更)
2000. 12. 20	資本金 12,409 億ウォンを 1:2 に減資
2000. 12. 22	資本金 18,509 億ウォンに増資
2001. 3	韓国内最大外国為替専門ウェブサイト開設
2001. 6	2010 年 Yeosu 世界博覧会誘致委員会後援銀行に選定
2003. 9. 3	バンカシュランス業務開始
2003. 10. 30	資本金 31,946 億ウォンに増資(LSF KEB Holding, SCA に第 3 者割当増資 13,437 億ウォン) 最大株主コメルツ銀行から LDF-KEB Holding, SCA に変更
2004. 2. 28	外換信用カード(株)を吸収合併
2004. 9	Asiamoney 誌、当行を韓国内最優秀外国為替銀行に選定
2004. 12	CLS 為替同時決済システム開始
2004. 12	IFR Asia 誌、当行を” Deal of the Year” 銀行に選定(3 年連続)
2005. 6. 7	S & P、長期信用等級 BBB に引上げ
2005. 6. 17	Fitch、長期信用等級 BBB に引上げ
2005. 12. 15	Fitch、長期信用等級 BBB+に引上げ
2005. 12	Global Finance 誌、当行を韓国内最優秀貿易金融銀行に選定(6 年連続)
2006. 3. 29	韓国信用評価、先順位無保証債券等級 AAA に格上げ
2006. 6	Asia Risk 誌、当行をアジア 10 大銀行に選定
2006. 7	ユーロマネー誌、2006 年韓国最優秀銀行に選定
2006. 8	Moody's、短期債信用等級 P-2 に格上げ
2006. 8	Asiamoney 誌、2006 年韓国最優秀 Cash Management Service 銀行に選定(2 年連続)
2006. 10	ロシア・ルーブル貨および南アフリカ・ランド貨に対する外国為替業務開始
2006. 11	韓国系銀行最初の中国内インターネットバンキング・サービス実施
2006. 12	金融監督院、「ヘッジマスター・サービス」2006 年金融商品最優秀賞受賞

2007. 2. 22	S & P、長期信用等級 BBB+に引上げ
2007. 3. 23	韓国信用情報、企業信用等級 AAA に格上げ
2007. 5. 4	Moody's、長期債信用等級 A2 に 3 段階格上げ
2007. 8	Asiamoney 誌、2007 年韓国最優秀外国為替銀行選定 (2 年連続)
2007. 10. 23	Global Finance 誌、2007 年韓国最優秀外国為替銀行選定 (6 年連続)
2007. 10	産業支援部主管「2007 年度サービス品質核心産業支援部長官賞」受賞
2007. 12	IFR Asia 誌、当行を” Deal of the Year” 銀行に選定
2008. 2. 29	Fitch、長期信用等級 A-に格上げ
2008. 3	市中銀行中最初の外国語音声案内対応 ATM および CD 設置
2008. 4	ロシア・モスクワ事務所開設
2008. 5	CD/ATM 10 カ国語画面支援サービス実施：国語、英語、日本語、中国語、ベトナム語、モンゴル語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語およびスリランカ語
2008. 6	外国人居住者専用 KEB Global 預金実施
2008. 6	カナダ韓国外換銀行バンクーバー・ダウンタウン支店開設
2008. 7	新 CI (Corporate Identity) 宣布
2008. 7	中国・天津支店内 Pin Hai 出張所、チリ・サンディエゴ事務所開設
2008. 8	インド・ニューデリー現地事務所開設
2008. 9	外換銀行顧客センター「KS 認証」獲得
2008. 10	北京ウダコウ出張所開設
2008. 11	ロシア VTB24 銀行と戦略的業務提携
2008. 11	チェコ/オストラバ事務所開設
2009. 1	ATM 言語画面支援サービス実施 (総 17 カ国)
2009. 3	インドネシア外換銀行現地法人グラパガーデン出張所開設
2009. 3	ソウル出入国管理事務所と「グローバル人材および投資外国人誘致支援」のための業務協定締結
2009. 4	「KEB 申聞鼓」制度を海外店舗網まで拡大施行
2009. 6	外貨譲渡性預金証書 (外貨 CD) 販売
2009. 7	香港 IB 現地法人” KEB Asia Finance Ltd.” 設立
2009. 8	外国人英語専用通帳” Expat Savings Account” サービス開始
2009. 10	大宇証券と CMA 信用カード発行業務提携協約締結
2009. 11	トルコ・リラの外国為替業務取扱開始
2009. 11	現代証券と為替取引自動化サービス業務提携協約締結
2009. 12	在外韓国人に対する国内投資サービス実施
2010. 4	モバイルバンキング開始
2010. 4	CLS 委員会 委員に選定
2010. 5	韓国社会貢献大賞「国際社会部門」受賞
2010. 8	カザフスタン通貨 (テンゲ貨) 両替開始
2010. 8	自動化機器 (ATM) 利用外貨振替サービス開始
2010. 9	中国元建て送金開始
2010. 9	チェコ・カタル通貨両替開始
2011. 3	日本「東日本大震災」に支援金 5 億ウォン支援
2011. 7	外国為替業務専門コンサルティング業務開始
2011. 11	ATM DCC (ATM での外貨自動両替) サービス開始
2012. 1	企業オーダーメイド型「In-House Banking Plus」出資
2012. 2	ハナ金融グループに編入 (第 24 代銀行長 尹庸老 就任)
2012. 3	韓国国内銀行最初の 11 ケ国語をカバーする「KEB Global banking Service」開始
2012. 4	外国人顧客のための総合相談サービス「オメガ・サービス」開始

2012. 5	韓国内銀行最初の香港支店に「Global Trade Finance and Remittance Center」設立
2012. 5	銀行最初の中小・中堅海運会社の船舶購入資金支援のための「KEB on Lending」取扱開始
2012. 6	金融界最初の「リアルタイム外貨資金管理サービス」開始
2012. 7	大韓赤十字社と「社会貢献協約」締結
2012. 7	モンゴル通貨 Tugrik 貨両替開始
2012. 9	韓国内銀最初のスキャンイメージを利用した「偽造紙幣検索システム」構築
2012. 11	「輸出企業買取支援特別ファンド」支援実績 5 億ドル突破
2012. 11	「スマートフォン顧客センター」開設
2012. 12	韓国内銀行最初の「アブダビ支店」開店
2012. 12	韓国内銀行最初のドイツ現地法人に「貿易金融センター」設立
2013. 1	韓国国内最初の BOK 人民元貸出実施
2013. 2	市中銀行最初の中小企業への支援のための「中小企業グローバルセンター (SME Global Center)」設立
2013. 4	ハナ金融と外換銀行の株式交換実施
2013. 5	「オーダーメイド型資金管理サービス (KEBiNet) スマートフォン サービス」開始 国内銀行最初の「トルコ、イスタンブール事務所」開設
2013. 6	中小/個人事業者のための「KEB Smart-Tax」サービス開始
2013. 7	インドネシア・チュールクに出張所開設
2013. 8	世界で 4 番目に SWIFT を利用した SWIFTNet TSU 商用化
2013. 9	フィリピン・クラク支店開店
2013. 10	2013 年度中国内市中銀行初の満期 10 年物の「2 億ドル海外後順位債券発行」成功
2013. 11	ソウル市とともに「明洞観光情報センター」開館 国内最初の「IFC 保証部 L/C Nego」制度施行 中国「西清支店」開店及び日本「福岡出張所」開店
2013. 12	ソンド（松島）国際業務地区開発事業「Project Financing」協約締結 オーストラリア「シドニー支店」認可取得
2014. 1	国内銀行最初の「チリとオマーン紙幣両替」開始
2014. 2	インド最大の銀行「インドステート銀行」と MOU 締結
2014. 3	第 25 代 金漢祚新銀行長就任
2014. 4	外換Mバンク等 6 アプリを 1 つに統合する「スマートフォンバンキング全面改編」施行 ハナ銀行と共同推進「海外 FATCA コンサルティング調印式」
2014. 5	紙幣展示館 (Gallery of Money) オープン 外換銀行、2014 年 KSQI 11 年連続「優秀コールセンター」認証獲得
2014. 6	外換銀行、5 億ドル規模海外債券発行
2014. 7	外換銀行、中小企業功労者支援優秀団体大統領表彰 インドチェンナイ支店予備認可取得 国内初ウォン - 人民元現金直取引
2014. 9	ロシア現地法人開店 外換銀行、ファイナンスアジア誌、7 年連続国内最優秀外為銀行に選定 外換銀行、グローバルファイナンス誌、13 年連続最優秀外為銀行に選定
2014. 10	カナダバンクーバーリッチモンド支店開店
2014. 11	国内初「ウォン - 人民元通貨オプション取引」締結
2014. 12	国内銀行初「中国銀行間債権市場」投資承認

3). 全社連結貸借対照表及び損益計算書

3-1) 本店貸借対照表 (2014 年 6 月 30 日現在)

(単位:百万ウォン)

科 目	2014 年 6 月末 (韓国ウォン)	2013 年 6 月末 (韓国ウォン)
現金・預置金	10,733,895	7,116,750
当期損益認識金融資産	2,612,141	1,410,210
ヘッジ目的金融派生資産	24,389	26,405
売渡可能金融資産	10,660,357	8,688,155
満期保有金融資産	1,974,081	3,153,377
貸出債権	78,745,674	70,481,453
関係企業株式	771	1,026,562
無形資産	69,450	65,857
有形資産	1,210,984	1,194,311
投資不動産	182,294	176,924
先払法人税	1,555	22,387
繰延法人税資産	37,646	
その他資産	7,531,464	12,046,835
総合金融勘定資産	2,525,597	2,014,740
売却予定非流動資産	636	195
資産総計	116,310,934	107,424,611
預受負債	75,023,928	64,566,290
当期損益認識金融負債	1,860,840	1,213,992
ヘッジ目的金融派生負債	4,472	14,441
借入負債	8,938,272	7,425,951
社債	6,170,720	6,308,145
充当負債	272,870	232,463
未払法人税	116,954	5,521
繰延法人税負債	43,539	48,006
その他負債	11,859,702	16,438,567
総合金融勘定負債	2,429,171	2,154,800
負債総計	106,720,468	98,408,176
資本金	3,224,534	3,224,534
資本剰余金	940	940
新種資本証券	179,737	249,772
利益剰余金	6,011,210	5,379,086
(貸損準備金予定積立後金額)		(671,326)
資本調整	-26,694	-19,026
包括損益累計額	87,512	181,130
非支配持分	113,227	-
資本総計	9,590,466	9,016,436
負債・資本総計	116,310,934	107,424,612

3-2) 本店損益計算書 (2014 年 6 月 30 日現在)

(単位:百万ウォン)

科 目	2014 年 6 月末 (韓国ウォン)	2013 年 6 月末 (韓国ウォン)
1. 純利子利益	1, 155, 697	1, 034, 489
利子収益	1, 955, 904	1, 842, 992
利子費用	-808, 207	-808, 503
2. 純手数料利益	76, 409	82, 544
手数料収益	268, 082	247, 881
手数料費用	191, 673	-165, 337
3. 純当期損益認識金融商品利益 (損失)	6, 363	-7, 566
当期損益認識金融商品収益	2, 097, 668	2, 435, 385
当期損益認識金融商品費用	-2, 091, 305	-2, 442, 951
4. 純ヘッジ目的派生商品利益	-2, 294	4, 096
ヘッジ目的派生商品収益	17, 522	31, 653
ヘッジ目的派生商品費用	-19, 816	-27, 557
5. 純売渡可能金融資産利益	133, 286	46, 159
売渡可能金融資産収益	133, 514	51, 346
売渡可能金融資産費用	-228	-5, 187
6. 減損差損	-319, 860	-238, 606
金融資産関連減損差損	-319, 860	-238, 606
7. 一般管理費	-736, 640	-708, 624
8. その他営業利益	87, 305	9, 877
その他営業収益	767, 668	840, 599
その他営業費用	-680, 363	-830, 722
9. 営業利益	400, 266	222, 369
10. 営業外利益	-2, 062	-45, 592
営業外収益	11, 869	9, 675
営業外費用	-13, 931	-55, 267
11. 法人税差減前純利益	398, 204	176, 777
12. 法人税費用	-73, 700	-21, 254
13. 当期純利益	324, 504	155, 523
支配株主持分当期純利益	319, 482	
非支配株主持分当期純利益	5, 022	
14. その他包括利益	-67, 231	
15. 総包括利益	257, 273	